



五島地協

第62号

2019年12月24日(火)

〒853-0033 五島市木場町516-7
連合長崎五島地域協議会(五島地協)
発行責任者 高井良 芳行
TEL 0959-72-5749 FAX 0959-72-5749

連合長崎

地協・ブロック代表者会議開催

2019年12月6日(金)長崎県勤労福祉会館において連合長崎2020年度・第1回地協・ブロック代表者会議が開催されました。

この会議は、第27回定期大会の方針決定を受けて、当面の取り組みについて意識統一を図るため開催され、連合長崎各地協・ブロック連絡会の議長・事務局長、それに連合長崎役員が参加しました。

- ① 2020春季生活闘争の取り組みについて
- ② 2020九州ブロック春闘キャラバンに関する取り組みについて
- ③ 『米軍基地の整理・縮小』と『日米地位協定の抜本的見直し』を実現する日出生台集会への参加について
- ④ 平和行動について
- ⑤ 2020年度政策・制度要求の取り組みについて
- ⑥ 「連合愛のキャンパ」のキャンパ活動・地域助成団体の募集について
- ⑦ アジア・アフリカ支援米の取り組みについて

等、担当執行委員から提起があり全体で確認されました。最後に、各地域協議会・ブロック連絡会からこれまでの取り組みと今後の活動計画が報告され会議は終了しました。

地方議会の現状

～低下を続ける投票率、上昇続ける無投票、少ない女性議員～

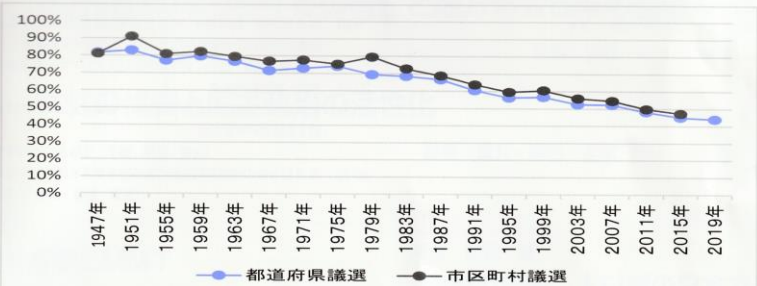
私たちの日常生活に深く根差す福祉や教育、まちづくりなどは地方自治体が担っており、住民個々人の利害を調整し、公共の福祉のための施策を討議、決定するのは議会の役割である。よって、議会の機能不全は民主主義の危機につながる。

現在、地方議会を巡っては、議員のなり手(候補者)不足、無投票当選、女性議員が少ないなどの課題に直面している。いずれも、地方自治機能の低下と民主主義の危機をもたらす課題である。図1は統一自治体選挙の投票率の推移を見たものである。都道府県議会議員選挙については、今年実施された第19回統一自治体選挙の投票率は、

1947年実施の第1回選挙と比較して37・63ポイント下がった。なお、過去の選挙で投票率が高かったのは都道府県議選で82・99%(1951年)市町村議選では91・02%(1951年)であった。第3回以降の統一自治体選挙の無投票当選者の割合の変化を見たのが図2である。1990年代以降、都道府県議会、及び

町村議会議員選挙で無投票当選者数が増加している。また、地方議会議員の男女比率を比較したのが図3である。女性議員の割合は、全体では12・4%、最も割合が高いのは市区議会議員14・5%、都道府県・町村議会議員は1割未満という現状である。

図1 統一自治体選挙の投票率の推移



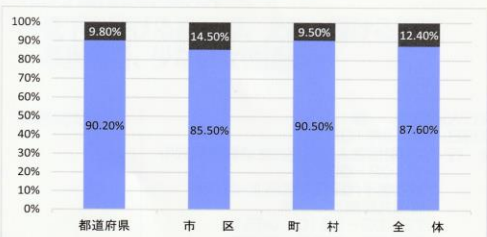
出所：総務省「地方選挙結果調」をもとに作成。2019年都道府県議選は総務省速報値。

図2 統一地方選挙における無投票当選者数の割合



出所：総務省「地方選挙結果調」を基に作成。指定都市議会・区議会選挙については、無投票当選者数が極めて少ないため編集部で割愛した。

図3 地方議会議員の男女比率



出所：総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」(2015年12月31日現在)をもとに作成。

出所(連合総研レポートNo.351)

2020年

連合五島地協

新年旗開き

日時 1月10日(金) 18時～

場所 はたなか

会費 3000円

2020年度

「連合・愛のキャンパ」地域助成団体(事業)募集

1. 地域助成対象資格
(1) 連合組合員及びその家族、OB(家族を含む)が積極的に運営に参加しているNGO・NPO団体が行う具体的事業プログラム。

(2) 連合長崎構成組織、地協・ブロックが日常的な活動で連携し、特に推薦するNGO・NPO団体等の具体的事業プログラム。

※ただし、株式会社など営利を目的とする団体、社団法人、財団法人、社会福祉法人、医療法人、学校法人、宗教法人は対象外となります。

*詳しくは五島地協まで